

楽歩トライアル：『ザ・キッズニック!』の実施結果の報告

資料1

1. 目的（第4回連絡調整会資料より抜粋・一部編集）

- 自由が丘における再開発等により今後創出されるパブリックプレイスにおいては、『自由が丘未来ビジョン』における“楽歩”の思想に基づき、利活用を促進し、歩行者がふと足を止めるような取組を行っていきたくと考えています。
- そこで、令和6年度は、**今後創出されるパブリックプレイスの利活用の促進に向けた“仕組みづくり”**に取組みたいと考えておりました（仕組みのイメージは下図参照）。
- ただし、“仕組み”づくりは、一足飛びにはいかないと認識していることから、令和6年11月に、**現在の駅前広場を新たに創出されるパブリックプレイスに見立て、“パブリックプレイスの管理運営者”の役割を目黒区が担い、求められる役割を検証するための試行実験を実施**しました。

■目指したい仕組みのイメージ

「自由が丘パブリックプレイス管理運営ガイドライン（ガイドライン）」

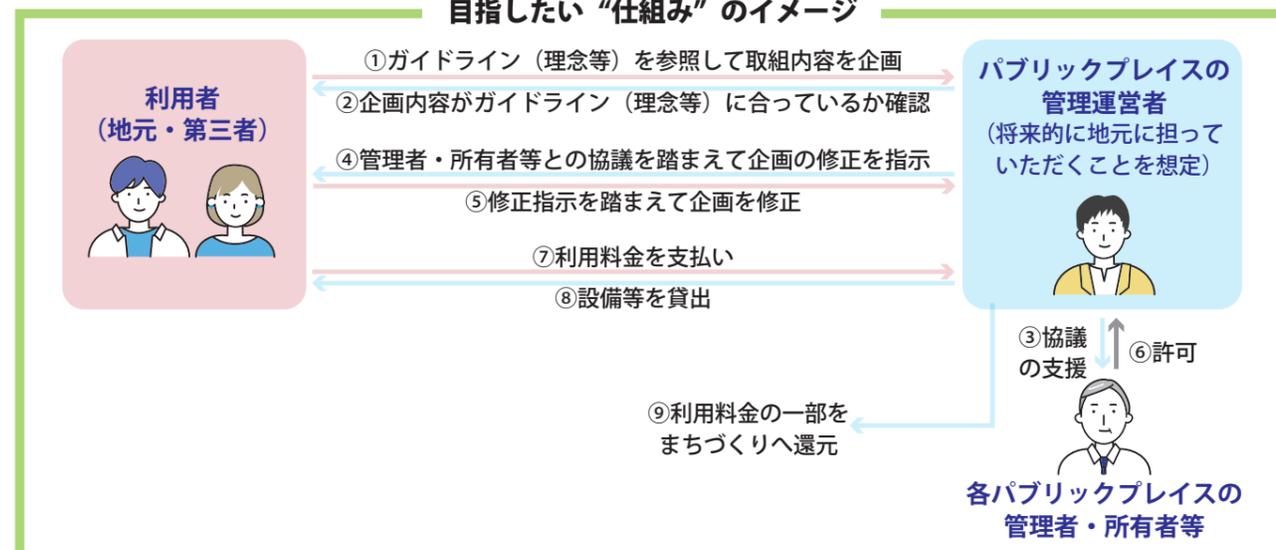
パブリックプレイスを利用する際の**手引き書**。

活用にあたって守ってもらいたいこと（理念等）や、利用の際の手続き等を記載。



ガイドラインに則った“仕組み”

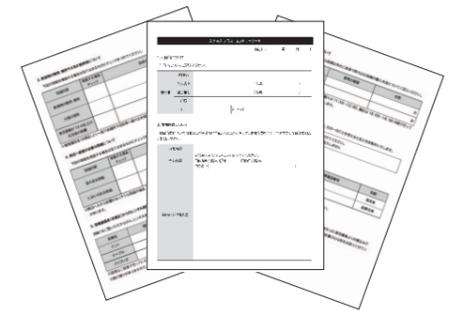
目指したい“仕組み”のイメージ



2. 管理運営者の取組内容

①取組内容等の確認

→パブリックプレイスの利用者に対して**ヒアリング**を行い、管理運営者が**実施内容**や**備品の数量等**を聞き取り（当初利用者にエントリーシートを記載提出いただくことを想定していたが、難しいと判断したため）。



②道路管理者・交通管理者協議の支援

→ヒアリングを基に、管理運営者が**企画書・配置計画等**を作成し、**協議を代行**

③連絡調整会への報告

→企画書・配置図等を基に**取組内容を連絡調整会へ報告**

④各段階における利用者との打合せ

→利用者が複数いたことから、顔合わせや、道路管理者・交通管理者協議結果の共有、周知資料等の確認のために**打合せ（計3回）**

⑤貸出備品の準備

→希望する**貸出可能備品の数量を調整**（本来であればレンタル業者より一括でレンタルする予定だったが、地元商店会が保有しているものをお借りする形で対応。）

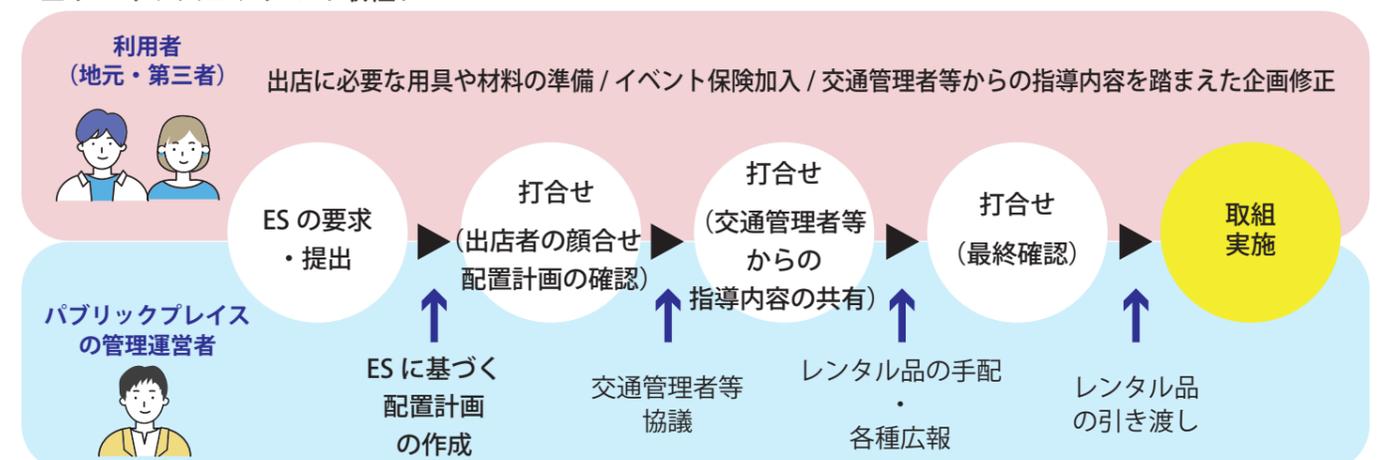
⑥目黒区公式 SNS・WEB サイトやまちづくりニュース等による周知

→**管理運営者が周知書類を作成**し、SNS・WEB サイト・まちづくりニュース等により**周知**

⑦その他（当初想定していなかった内容）

→利用者が複数いたことから、それぞれの取組が分かる**共通の A 看板や案内会場 MAP を作成**
→希望する**利用者のテント等の設営**（テントは欲しいが自分では立てられないとの申し出より）

■ザ・キッズニック!の取組フロー



3. 当日運営

(1) 実施概要

- 実施日時：11月3日（日）13:00～17:00
※道路使用許可 12:00～18:00（12:00～13:00 設営、17:00～18:00 撤去）
- 実施場所：自由が丘駅 駅前広場
- 実施主体：自由が丘エリアプラットフォーム（道路使用主体：目黒区）

(2) エリアプラットフォームによる取組（目黒区）

- 「自由が丘未来ビジョン」に基づく社会実験であることを総合案内にて周知しました。
- 自由が丘で課題となっている自転車走行マナーの向上を目的として、おしチャリロゴの掲示（立て看板・バリケード・スタッフ着用ビブス等）により、おしチャリを啓発しました。



総合案内



押しチャリバリケード・ビブス



押しチャリ立て看板

(3) 利用者による取組

①City Picnic（自由が丘商店会振興組合 青年部）

- まちなかでのピクニックをテーマとした、キッチンカーやブックスタンド等の店舗による出店と人工芝でのピクニックを楽しむ取組等を実施しました。



人工芝におけるピクニック空間



人工芝におけるピクニック空間



キッチンカー



ブックスタンド



書道パフォーマンス

②日韓伝統文化体験（日韓農水産食文化協会・日韓自由が丘交流会等）

- 日韓伝統文化等を体験できる取組を実施しました。



韓国伝統餅つき体験



韓国伝統菓子づくり体験（コッサンピョン）



こども料理大会



韓国伝統儀式体験（ヨンジゴンジ）



子供向け着物体験



誰でもデザイナーになれる授業

③ベイブレードX G2 大会等（おもちゃのマミー等）

- タカラトミーの公式ベイブレードX G2 大会等を実施しました。



ベイブレード大会



すごろく配布

4. 仕組みづくりに向けた今後の課題

(1) 管理運営者の体制強化と利用者の自主性を誘導することが必要

- 今回は、駅前広場で複数の利用者の取組を同時に行ったことで、複数の利用者との調整やそれに伴う作業が発生しました。
- ➡今回の取組は、結果的に複数の取組の相互調整を行ったという意味において、パブリックプレイスを、1人の管理運営者が一元的に管理運営するスタイルの試行となりましたが、調整・準備等に管理運営者の労力を多大に要したことから、仮に自由が丘のまち全体のパブリックプレイスを一元的に管理運営するのであれば、当該管理運営者の体制を段階的に強化していく必要があると考えます。
- ➡また、1箇所のパブリックプレイスを第三者である利用者が利用する場合においても、管理運営者の労力を低減するために、利用者が高い自主性を持って参画するように誘導する必要があると考えます。

(2) 自由が丘のブランド性を損なわないための調整が必要

- 今回は、駅前広場という限られた空間で、複数の利用者の取組を行ったことで、雑多感が否めませんでした。当初の取組テーマは、【子ども × ピクニック】でしたが、ピクニック、キッチンカー、ブックスタンド、ベイブレード大会、韓国文化、和装着付け、書道パフォーマンス等、やや取り留めがなくなっていました。
- ➡自由が丘のまちのブランド性を損なわないという観点から、例えば、1箇所のパブリックプレイスで複数の取組がある場合は、雑多なイメージとならないよう、管理運営者側での調整が必要と考えます。
- ➡また、複数のパブリックプレイスで同時多発的な利活用を図る際には、各パブリックプレイス間で連携・調整を行う必要があると考えます。

(3) 管理運営者の取組内容の精査が必要

- 今回は、企画書や周知書類等の作成について、管理運営者が利用者から聞き取りした内容を基に、企画書や周知書類等を作成し、再度、利用者に内容の確認をってもらう形としたことで、やり取りが煩雑になってしまいました。
- また、物品の数量について、今回は、管理運営者が利用者から聞き取りをした内容に基づき、複数の地元商店会のご協力を得て備品をお借りしましたが、当日、利用者と管理運営者間で備品の数量について認識のズレが発生しました。
- また、管理運営者の調整可能な範囲で想定していた備品以外の備品の貸出を希望される事象も発生しました。
- ➡管理運営者と利用者の取組内容や備品の数量等の伝達に活用したエントリーシートは、管理運営者が聞き取る形ではなく、利用者に利用者自身で記載した書面等を提出してもらうことが、正確性と効率性の双方を確保するために必要と考えます。その際に、最初から全ての内容が決まっていないことから、まずは利用者から簡単な相談を受けた後に、利用者自身で正式な企画書等を作成してもらう、段階的な進め方が必要と考えます。
- ➡また、周知についても、可能な範囲で媒体は提供しつつも、掲載内容等は利用者自身で作成してもらう必要があると考えます。
- ➡また、管理運営者から貸し出せるものを明示したうえで、管理運営者が調整できる範囲内の貸出を行う必要があると考えます。